

# 医療評News Letter

## 第2回病院支部代表者会議開催、看護職員における再任用義務化の課題について方針確認！

5月26日に北海道青年会館にて、全道立病院支部より代表者の出席を得て病院支部代表者会議を開催しました。

冒頭、真壁議長より職能評議会として就労看護師200万人体制を求める署名について、全道立病院支部を上げて取り組む必要性を述べ、看護職員の労働条件の底上げに取り組んでいくことを確認しました。

昨年的人事院の申出以降、医療評議会内でも課題について、継続的に議論してきましたが、この秋にも公務員の再任用義務化として法案が提出される情勢から、看護職は加齢に伴う職務の困難性をあらためて認識し、再任用看護職員について定数外化していくなどを要求していく評議会方針を全体で確認しました。

今後も評議会としては、組合員の人生設計にも大きく係わる重要な課題であることから取り組みを強化していきますので支部段階でも活発な議論をお願いいたします。

## 人事当局、看護師・薬剤師について「採用困難職種」として採用の通年募集化決定！

既に道のHPに掲載済ですが、3月の部交渉でも要求してきました看護師・薬剤師の募集について、通年で行なうこととなりました。

これまでの各支部からの上申の取り組みなどの成

**署名は、最終的に自治労が  
厚生労働大臣に提出します！**

果といえますが、今後も十分な採用試験の回数確保と道立病院所在地における試験の実施など採用方法の柔軟化を継続的に求めていきますので各支部からのご協力をお願いいたします。

なお、5月27日に看護師採用試験が実施されましたが、8月と10月に採用試験を実施することが決まっております。他の職種(検査技師、放射線技師など)についても6月に採用試験が実施されますので、各地域においても応募者確保のためのアピールなどをお願いいたします。

## 北海道看護協会総会で署名行動しました～

5月26日、医療評議会は全道庁本部、自治労道本部と連携し、北海道看護協会総会会場で就労看護師200万人体制を求める署名への協力を呼びかけました。

各地域での創意工夫ある取り組み強化を！



奮闘中の本部・河端氏

**就労看護職員200万人体制実現に向けて**

**自らの力で全国的に看護職場の労働環境改善を！**